

松井 NIEの取り組みについて本市の現状を伺う。

教育部長 本市、小中学校で、NIEが授業に取り入れられていて読解力や、思考力も身につくと続けられていくことを期待している。

松井 厳しい経済状況の中、制服のリサイクルについて、学校での活用方法を考えていただきたい。

教育部長 制服のリサイクルを行っている学校は5校で学校の情報交換の連絡会も開催し、リサイクルバザーの協力も含め、子どもたちが安心して登校できるよう教育環境の整備を進めていきたい。

松井 若者の雇用対策について新卒者の内定率の低下、就活にかかる費用の負担が重いのので「就活応援基金」を創設等、本市独自の支援策について伺う。

産業振興部長 基金的なものについては考えてないが、雇用対策、就業を支援する事業として40歳以下の市民対象に、30名から、60名に事業費を拡大してCAD講座を開催している。

松井 女性のがん対策について定期的な検診と予防ワクチンの組み合わせで予防できる、唯一のがんとされる子宮頸がんですが、高額な費用がかかるため、全額助成を表明する自治体が広がっていますが、本市でも日本一の子育てのまちづくりを掲げているからこそ、公費助成を検討しては。

健康福祉部長 国への働きかけとか、近隣の市町村の状況もどうかいながら検討していきたい。

松井 老人憩いの家にウォシュレットのトイレの設置について。

健康福祉部長 老人憩いの家だけでなくウォシュレット付きのトイレがないので改修について計画を進め、補正で対応してまいりたい。



松井美津子 議員

### 老人憩いの家にウォシュレット付きのトイレ設置を



吉永 小児医療について幾度となく触れてきた。合志市は、小児医療機関は診療を受ける側としては恵まれている。しかし、診察をしていただく医師には、相当な負担を強いている。特に、熊本市にある、地域医療センター等は勤務医と開業医の医師の協力により休日、祝祭日、夜間と24時間体制での診療が行われ、その過酷さが問題となっている。そこで、その負担を減らす事と、重症の子どもが迅速且つ優先に診察が受けられる手だてとして、#8000番と併用して利用できる、診断の目安となるフローチャート式の冊子を制作、配布しては如何か。

健康福祉部長 現在、医療現場において診察の過酷さが医療崩壊の原因になっている。本市に冊子は無いが非常に有効な手段ではないかと思う。吉永 今後小児救急、救命救急NICU、PICUについて伺う。



吉永 健司 議員

### 診る側、診てもらった側



### 一段ボールコンポスト

吉永 今、モニター事業等で啓発、普及を行っているが、出来た堆肥の処理や、経費等の問題で一部の取り組みでしかない。出来た堆肥を回収してポイント制にし、地元農産物やゴミ袋等に交換できる仕組みを取り入れては。

### マンホールポンプ

吉永 本市において最も高い確率で起こる災害として、台風がある。その被害として、電気が止まり地中にあるマンホールポンプが停止する。その時間が長ければ長いほど、下水道に支障をきたす。対策は。

水道局長 管内55カ所のマンホールポンプが点在する。自家発電機9台や委託業者のバキュームと発電不足に対する借入等万全の連絡体制をとっている。

### 保育園

### 待機児童の解消を

濱元幸一郎 議員



濱元 「子どもが保育園に入園できない」と保護者の方々からの相談が寄せられている。経済悪化が深刻化する中で、子育て世代を経済的困難が襲っている。「保育園に預けて働きたい」と入園希望が切実な要求になっている。来年度4月からの入園申し込み状況、定員数、何名の子どもたちが入園できないことになるか。

健康福祉部長 2月1日時点では、一次募集が504人、二次申し込みで10人の合計514人。保育園の受け入れ状況は、新設保育園2園、既設保育園6園に定員増のお願いをしており、定員総数が180人増えて1500人を予定している。4月時点では約70名の待機児童になるのではないかと予想している。

濱元 待機児童を解消するために市はどうするのか。

健康福祉部長 現在2か所で実施している一時保育事業の利用内容を見直し、保育所に準じた常時預かりを実施する予定。また、保育料金についても過重な負担とならないように検討している。



濱元 21年度の状況を考えると、これからさらに待機児童が増えることが予測される。一時保育は定員20名、人数が相当限られる。

健康福祉部長 緊急的な対策で人数は多く望めない。10名ずつである。濱元 市には保育実施責任がある。保育所が足りない場合は保育所を整備する役割がある。抜本的な対策が必要。

健康福祉部長 今まで申し上げたような形で、市としても対応している。濱元 その対応が間に合っていないから指摘している。当分、市が保育士を配置して臨時の保育室を設置してはどうか。ありとあらゆる知恵を尽くすべきだ。

健康福祉部長 一時保育を通常保育で利用していきたい。

### ごみ減量の数値目標を示せ!

神田 公司 議員



神田 12月の18日の一般質問で、合志市が燃やすごみを10%、20%、30%、40%、50%減らした場合の菊池環境保全組合への負担金が減ると質問をした。この時市長は「具体的な数値目標は、担当部長の方でさらに検討する」と答弁した。

市長 一般質問のあとにそれぞれに指示をした。

神田 2月22日午後から市民部長と環境衛生課長のところに向いて、今回の一般質問の件で議論をした。その際、「大住市長から指示はいつされたのか」と尋ねたら、2人からは「されていません」と答えた。一般質問の答弁というのはこんなに軽い扱いをされるのか。減量化を目指しているはずのごみ政策だが、ごみ収集委託料は来年度予算では1億5553万6000円から1億5863万9000円に上がっている。何でこういう、ちくはくなことになるのか。

市長 すべてのこの一般質問で取り上げたことについては、必ず点検をするように庁議の中でも指示をしている。

神田 もう1つ試算をした。合志市が燃やすごみを2割削減されたならば64万3545kg、CO2で全体菊池環境保全組合)の7%、5割削減なら160万8863kg、CO2で全体の18・36%の削減となる。燃やすごみを削減することは、財政だけでなく環境問題としても喫緊の問題で、市民の皆さんに説明すれば、協力していただける。

市長 ごみの問題の数値化についても、担当部署の方で検討し、具体的に数字として上がっていない状況だ。今後でも部署の方で検討し、結論を出していきたい。



減量化が求められる燃やすゴミ